**令和７年度**

**私立学校初任者研修九州地区研修会事前レポートについて**

一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校初任者研修九州地区研修会運営委員会

今回の初任者研修会は、研修Ⅰと研修Ⅱとの間で「学びに関する取り組み」について意見交換を行います。また、研修Ⅲ「いじめ問題対応の基礎(仮)」、研修Ⅳ「『チーム学校』による学びのサポート(仮)」の講義を踏まえて、それぞれグループ討議を行います。

そこで意見交換とグループ討議の資料とするために、参加者は以下の要領で「事前レポート」を作成し、提出してください。提出されたレポートは、そのまま印刷・製本して意見交換とグループ討議の資料として用いるので、以下の指示をよく読んで作成してください。

**【事前レポートの作成及び提出方法】**

提出するレポートは、４ページ目の指定用紙のフォーマットに直接入力して提出してください。

１．最上段の枠内には、指定された事項を必ず記載してください。

２．後記の３つの《事前レポート課題》について、指定された内容（課題１）や選択した項目（課題２及び３）について記入し、合わせて1ページに収まるよう工夫してください。

３．入力枠内に指定の**МＳ**明朝体・10.5Pで入力してください。

４．提出されたレポートは、そのまま意見交換とグループ討議の資料として印刷・製本するので、作成の際には書式を変更しないでください。

５．レポート完成後は、記入した4ページの指定用紙以外の1～3ページを削除し、ファイル名を「初任研事前レポート(県名・氏名)」で保存してください。

６．作成したレポート（4ページ目）は、所属学校長の承認を得たうえで、**5月16日(金)の参加申込締切日までに各県私学協会あてのメールに添付して送信**してください。送信の際は、「メール件名」に「初任研事前レポート(県名・氏名)」を必ず明示してください。

**【レポート課題・内容】**

**課題１　意見交換会「学びに関する取り組み」の事前レポート**

**《事前レポート課題１（意見交換会用）》**

授業・評価法など学びに関する悩みや、工夫して取り組んでいることについて書いてください。これをもとに他の研修生と意見交換を行います。

**課題２　研修Ⅲ　「いじめ問題対応の基礎(仮)」の事前レポート**

**《講師》髙尾　兼利(西九州大学子ども学部子ども学科　教授)**

公認心理師　広島大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程前期修了

研究テーマは、「いじめ問題に対する臨床心理学からの理解と対応」、「不登校についての理解と対応」、「精神分析的心理療法」など。平成26年10月から現在まで、佐賀県いじめ問題対策連絡協議会会長及び佐賀県いじめ問題対策委員会委員長を務めている。連絡協議会では、いじめ問題対策に係る情報共有・連携等が行われ、委員会では、重大ないじめ事案が発生した際の対応の検討等が行われている。

**《事前レポート課題２（グループ討議用）》**

いじめ問題への対応は、学校教育現場において、今やもっとも重要な課題となっています。いじめ防止対策推進法の施行に伴い、平成25年度からいじめの定義が変更になり、いじめを広く捉えるものとなっています。文部科学省の調査によれば、令和5年度の国立、公立、私立の小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数、重大事態の発生件数ともに過去最多となりました。認知件数の増加は、いじめを覚知する感度の向上をはじめ、各学校の並々ならぬ努力の賜物であります。一方、重大事態の増加は、覚知後の初期対応、その後の対応の如何が関係していると思われます。本研修で、いじめ問題への迅速適切な対応方法の知見を深め、研修生の皆さんに元気になってほしいと願っています。

次の３つのテーマから１つ選んで書いてください。

1. いじめについての文部科学省の定義の変遷と現在の同定義の特性について理解していること
2. いじめ発生の「発生誘発要因」と「発生抑制誘因」について理解していること

さらに、生徒指導、学校経営で実践したいと思うこと

1. いじめ問題対応の基本について大切にしたいこと

また、平成21年4月から平成31年3月まで、佐賀県臨床心理士会会長を務めた。

**課題３　研修Ⅳ　「『チーム学校』による学びのサポート」(仮)」の事前レポート**

**《講師》牟田　孝子(佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校　教諭)**

特別支援教育士として、佐賀県内の小中高において、特別支援アドバイザー、教育相談アドバイザーを務める。令和5年度一般財団法人日本私学教育研究所委託研究員として「学校教育相談の現状とこれからの課題」をテーマに研究し、小中高の不登校者数が毎年増えているなか、その対応は大きな転換期を迎えており、2023年3月文部科学省が取りまとめた「**COCOLO**プラン」を中心に、所属校で新たな視点での教育相談体制の構築を目指し、「サポートルーム」の設置、卒業後の社会的自立に向けた校内サポートの取り組みについて考察し、その現状と課題についてまとめた。令和6年8月の第52回九州地区情緒障害教育研究会では、分科会の助言者を務める。

日本LD学会、発達性ディスレクシア研究会所属。

**《事前レポート課題３（グループ討議用）》**

特別支援教育が正式に実施された2007年から18年。2022年12月には、12年ぶりに『生徒指導提要』が改定され、多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導のテーマの一つとして、発達障害に関する理解と対応についても付け加えられました。また、2023年3月には、急増する不登校対策の一つとして、『ＣＯＣＯＬＯプラン』がまとめられました。特別支援教育、不登校対策ともに、「チーム学校」としての支援の重要性と、教育相談体制の充実が求められ、教職員の個々の資質向上だけでなく、「チーム学校」としての取り組みが不可欠です。本研修では、特別教育・教育相談の視点から「チーム学校」の取り組みについて考え、子どもの発達や教育的ニーズを踏まえた指導・支援の充実を目指したいと思います。

次の２つのテーマから１つ選んで書いてください。

1. 『生徒指導提要』改定のポイントについて
2. 文部科学省『ＣＯＣＯＬＯプラン』のだれ一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として、学校で取り組んでいること、また、今後必要だと考える取り組みについて

**令和７年度私立学校初任者研修九州地区研修会　事前レポート**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **№〈記入不要〉** | **グループ〈記入不要〉** | **県　名** | **性別〈○で囲む〉** |
|  |  | **県** | **男　・　女** |
| **学　　校　　名** | | **氏　名　(ﾌﾘｶﾞﾅ)** | |
|  | | **( )** | |
| **教　科** | **校務分掌** | **担当(担任)学年** | **担当部活動** |
| **科** |  | **年** |  |

**課題１　意見交換会「学びに関する取り組み」**

授業・評価法など学びに関する悩みや、工夫して取り組んでいることについて書いてください。

これをもとに他の研修生と意見交換をしていただきます。（МS明朝**体・10.5**ｐで書いてください。）

|  |
| --- |
|  |

**課題２　研修Ⅲ「いじめ問題対応の基礎」**

２ページの①～③の３つのテーマから1つ選んで書いてください。

選んだテーマの番号とそのレポートをМS明朝体・10.5ｐで書いてください。）

|  |
| --- |
| 選んだテーマの番号： |

**課題３　研修Ⅳ「『チーム学校』による学びのサポート」**

　３ページの①、②の２つのテーマから1つ選んで書いてください。

選んだテーマの番号とそのレポートをМS明朝体・10.5ｐで書いてください。）

|  |
| --- |
| 選んだテーマの番号： |